

EA用語集

本資料は、EAに関連する概念について整理したものです。

- EA

エンタープライズアーキテクチャ（Enterprise Architecture）を一言でいうと、企業の業務とシステムの設計図です。

EAに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/ea/>

- MDA

MDA（Model-Driven Architecture：モデル駆動アーキテクチャ）は、標準化団体であるOMG(Object Management Group)が「20年持続するソフトウェアアーキテクチャ」を目標として2001年に提唱した概念です。

MDAに関する詳細情報は以下を参照してください。

https://rakusui.org/agile_system/#layer

- UML

UMLはモデルを記述する標準的な表記法です。EAのモデルを作成するときに使うことができます。UMLのに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/uml/>

- 活動領域

企業の一般的な活動領域です。

活動領域に関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/dx_value_chain/#bp3

- バリューチェーン

バリューチェーンとは、M・E・ポーターが競争の戦略という本で提唱した概念で、事業活動を活動領域ごとに分類し、どの部分で付加価値が生み出されているか、競合と比較してどの部分に強み・弱みがあるかを分析し、事業戦略の有効性や改善の方向を探る手法のことです。

バリューチェーンに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/dx_value_chain/#value_chain

- ジョブ

ジョブ（職務）は、仕事の内容や役割を表す業務機能の型になります。

ジョブに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/dx_value_chain/#bp4

- ビジネスプロセス

ビジネスプロセスは、それを構成する活動が資産を消費することで、ステークホルダーに価値を生み出し、結果的に資産の状態を変化（増減）させる組織横断的な単位のことです。

業務プロセスともいいます。

ビジネスプロセスに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/dx_value_chain/?preview=true&_thumbnail_id=49#bp6

- 戦略マップ

戦略マップを描くことで情報システムを導入する目的を事業戦略の方向づけることができます。

戦略マップについての詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/design_business_model/#create_strategy_map

- ERM

ERM（Enterprise Risk Management）は、企業の目標に対するリスクを管理するための手法です。

ERMによって、戦略マップの戦略に対するリスクをコントロールすることができます。

ERMに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/erm/>

- データ

データとは、人や物、事象に関する事実を表したものです。例えば、注文すると、その事実が注文データになります。また、鉄塔があると、その事実が鉄塔データになります。データおよびデータモデルについては以下を参照してください。

https://rakusui.org/data_modeling/

- データマネジメント

データ資産の価値を提供、維持向上させるためにデータライフサイクルを通して計画、実施、監督することで、データを管理するための論理的な基盤になります。

データマネジメントに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/data_managemt/

- DMBOK

DMBOK（Data Management Body Of Knowledge：データマネジメント知識体系）とは、データマネジメントに関する知識を体系立ててまとめた書籍のことです。

DMBOKに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/dmbok/>

- データアーキテクチャ

企業のデータの基本的な構造や振舞を表すものです。

データアーキテクチャに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/da_design/

- データ管理基盤

データを管理するための物理的な基盤のことです。

データ基盤に関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/data_managemt/#system

- データ品質

データ品質に関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/data_quality/

- データセキュリティ

データセキュリティに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/data_security/

- アプリケーションシステム

IT基盤（後述）の上で動作する応用ソフトウェアのことです。略してアプリケーションともいいます。

アプリケーションシステムもMDAの3階層で分けることができ、概念レベル、論理レベル、物理レベルのアプリケーションシステムを、それぞれ、アプリケーションタイプ、アプリケーションカテゴリー、アプリケーションコンポーネントと呼びます。

アプリケーションシステムについては次を参照してください。

https://rakusui.org/ea/#application_system

- アプリケーション基盤

アプリケーションシステムを連携するEAIやESBなどの基盤のことです。

アプリケーション基盤を設計するときは、アプリケーションの統合方式を考える必要があります。

アプリケーションの統合方式については以下を参照してください。

https://rakusui.org/application_management/#application_integration

- アプリケーションマネジメント

アプリケーションマネジメントは、DevOpsやマイクロサービスアーキテクチャを適用することで、ビジネスの変化に合わせて、迅速に、品質の高いアプリケーションを導入するための仕組みです。

アプリケーションマネジメントに関する詳細は以下を参照してください。

https://rakusui.org/application_management/

- アプリケーション開発

統一ソフトウェア開発プロセス（UP：Unified Process）をベースとしたアプリケーション開発に関しては以下を参照してください。

https://rakusui.org/up_process/

- IT基盤

ここでは、ハードウェア、ネットワーク、OS、ミドルウェアをまとめてIT基盤と意義します。

- ITサービスマネジメント

ITサービスマネジメント（IT Service Management：ITSM）とは、ITサービスを提供する組織が、顧客ニーズとビジネス要求に合致したサービスの提供を実現し、その品質の継続的な改善を行うための仕組みのことです。

ITサービスマネジメントに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/itil/>

- COBIT

COBITとは、COBIT（Control Objectives for Information and related Technology）とは、情報システムコントロール協会（ISACA）とITガバナンス協会（ITGI）が1992年に作成を開始した、企業や組織がITガバナンスとITマネジメントを円滑に運用するための実践規範（フレームワーク/ガイドライン）です。

COBITに関する詳細は以下を参照してください。

<https://rakusui.org/cobit/>

エンタープライズアーキテクチャ (EA)

アプリケーションシステム

BA

DA

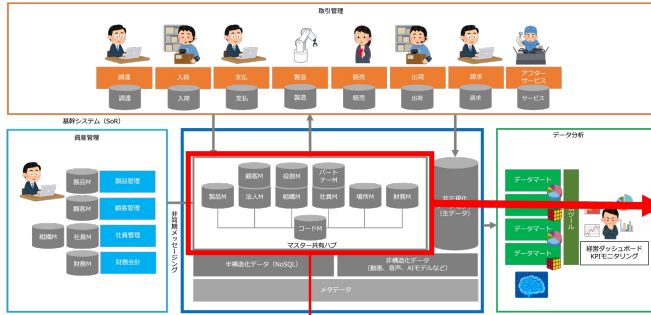
AA

TA

事業領域・活動領域



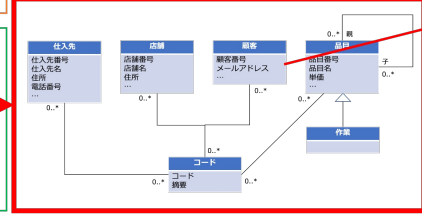
データ基盤



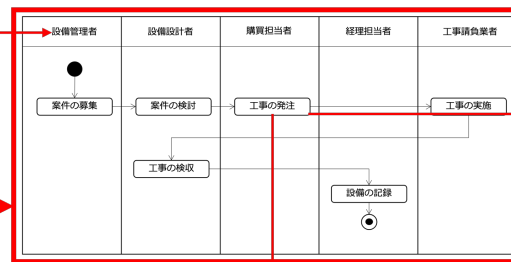
戦略マップ



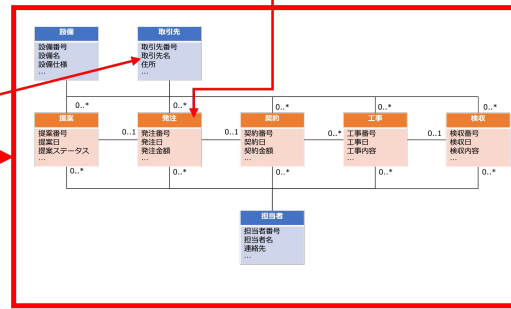
マスターデータモデル



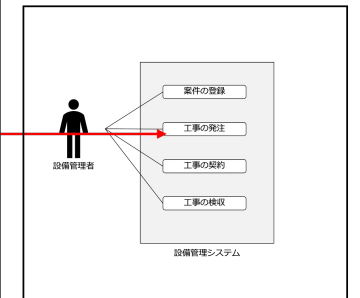
業務フロー



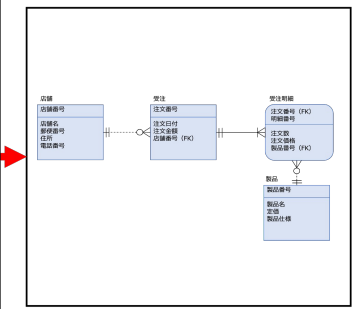
概念データモデル



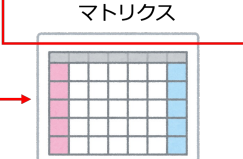
ユースケースモデル



論理データモデル・ドメインモデル



アプリケーション・IT基盤



アプリケーション一覧



IT基盤構成



アプリケーション基盤

